

2024年度 第2回 帝京大学医学部附属病院 監査委員会要旨

1. 日時：2025年2月14日（金） 13時57分～15時45分
2. 場所：帝京大学医学部附属病院6階 会議室2
3. 委員：久山泰(委員長)、秦奈峰子(外部委員)、橋本恵正(外部委員)、河野博隆(学内委員)
病院側：澤村成史(病院長・管理者)、上妻謙(安全管理担当副院長、医療安全管理責任者)、
山本貴嗣(総務担当副院長、診療録管理責任者)、深川剛生(診療担当副院長)、
安田篤史(安全管理担当副院長補佐、医療機器安全管理責任者、
インフォームドコンセント管理責任者)、
安心院康彦(安全管理部長、安全管理担当医師)、
安野伸浩(薬剤部長、医薬品安全管理責任者)、
大場洋(放射線科診療科長、医療放射線安全管理責任者)、
土谷明子(看護部長)、稲垣宏治(事務長・書記)、和久正志(相談役)、
目黒洋子(総務課長・内部通報窓口担当者)、根岸希三子(安全管理部)

4. 委員が確認した内容

- (1) 医療法第25条の規定に基づく立入検査の結果
- (2) 安全管理体制および安全管理部の構成について
- (3) ヒヤリハット・アクシデント報告件数の推移
- (4) 死亡・死産の報告件数
- (5) 病理解剖の実施件数
- (6) 令和6年度日本私立医科大学協会 医療安全相互ラウンドの結果
- (7) 高難度新規医療技術評価委員会の活動実績
- (8) 未承認新規医薬品等評価委員会の活動実績
- (9) 適応外医薬品等評価委員会の活動実績
- (10) 医療安全に関する職員研修の実績
- (11) 医療機器の保守点検の実施状況
- (12) 医療機器安全使用研修の実施状況
- (13) インフォームドコンセント取得に関する取り組みについて
- (14) 院内医薬品の使用状況
- (15) 未承認・適応外・禁忌薬剤の使用状況
- (16) 免疫チェックポイント阻害薬の重大な免疫関連有害事象に対する取り組みについて
- (17) 未承認・適応外使用における院内の情報共有と連携について
- (18) 放射線診療従事者の年度内被ばく線量管理について
- (19) 医療放射線被ばく線量の管理と記録について
- (20) 高線量医療被ばくにおける健康観察追跡調査について

- (21) 公益通報窓口および内部通報窓口について
- (22) 診療録量的点検・質的点検の結果について
- (23) 診療録管理の活動実績について
- (24) 医師の時間外労働規制に伴う働き方改革開始後の状況について

5. 委員からの指摘と改善策

- 指摘：高線量の医療被ばくが基準線量を超えた場合の部署間の連絡体制および管理体制を再点検し診療科へ周知徹底していただきたい。
- 改善策：既存の医療被ばく管理規程を再点検し、医療被ばくが基準線量を越えた場合の連絡体制を診療科へ周知徹底します。

6. 監査結果報告

- ・各部門に配置されているリスクマネージャーはその役割を理解し、職員全員で医療安全に取り組んでいる姿勢が評価できる。

- ・診療録の記載の改善が進んでいることが示された。更なる充実を期待する。

7. 講評

特定機能病院としての機能を十分発揮できる体制が整備されていること、安全管理体制が充実していることを確認した。今後も更なる向上に努め、患者にとって安心安全な医療を行っていただきたい。